



20211006評基認第001号  
2021年10月11日

# 認 定 証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を ASNITE 認定プログラムの標準物質生産者として認定する。

認 定 識 別: ASNITE 0082 RMP

適合性評価機関の名称: 富士フィルム和光純薬株式会社 大阪工場

法人の名称: 富士フィルム和光純薬株式会社

適合性評価機関の所在地: 兵庫県尼崎市高田町6番1号

認 定 範 囲: 別紙のとおり

認定要求事項: ISO 17034:2016

認定スキーム文書 (ASNITE-R (一般)) に  
記載した認定要求事項

認定発効日: 2019年5月10日

認定の有効期限: 2023年5月9日

初回認定発効日: 2016年1月19日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長

- ・ IAJapan (独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター) は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認取決め) に署名している認定機関です。
- ・ 相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準 (該当する国際規格) 適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項 (方針) を指します。
- ・ この認定は当該事業者が認定された範囲において ISO 17034:2016 の技術的能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです。
- ・ IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

標準物質生産者の認定の区分：化学標準物質

標準物質又は認証標準物質の別：認証標準物質

測定方法又は該当規格：第十八改正日本薬局方一般試験法

値付けされた特性：濃度

特性値の付与に用いるアプローチ：単一事業所による単一の方法を用いた値付け

(ISO 17034:2016 7.12.3 注記 1 d))

種類	特性名	特性値の範囲	拡張不確かさの範囲 (信頼の水準約 95%)	値付け技術	認定発効日
無機標準物質 高純度物質 (無機化学) 純化学品	0.1 mol/L 塩酸 (ファクター(20 ))	0.990 ~ 1.009	0.003	電位差滴定法	2019年5月10日
	0.2 mol/L 塩酸 (ファクター(20 ))	0.990 ~ 1.009	0.002	電位差滴定法	
	0.5 mol/L 塩酸 (ファクター(20 ))	0.990 ~ 1.009	0.002	電位差滴定法	
	1 mol/L 塩酸 (ファクター(20 ))	0.990 ~ 1.009	0.002	電位差滴定法	
	2 mol/L 塩酸 (ファクター(20 ))	0.990 ~ 1.009	0.002	電位差滴定法	
	0.05 mol/L 硫酸 (ファクター(20 ))	0.990 ~ 1.009	0.003	電位差滴定法	
	0.25 mol/L 硫酸 (ファクター(20 ))	0.990 ~ 1.009	0.002	電位差滴定法	
	0.5 mol/L 硫酸 (ファクター(20 ))	0.990 ~ 1.009	0.002	電位差滴定法	
	0.1 mol/L チオ硫酸 ナトリウム液 (ファクター(20 ))	0.990 ~ 1.009	0.003	電位差滴定法	
	0.1 mol/L 硝酸銀液 (ファクター(20 ))	0.990 ~ 1.009	0.002	電位差滴定法	
	1 mol/L 水酸化ナトリウム液 (ファクター(20 ))	0.990 ~ 1.009	0.002	電位差滴定法	

(以上)